

平成24年3月期 第3四半期決算短信[日本基準](非連結)

平成24年2月3日

上場会社名 株式会社 タクミナ

上場取引所 大

コード番号 6322 URL http://www.tacmina.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 問合せ先責任者(役職名)執行役員 経理部長

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (氏名) 山田信彦 (氏名) 吉田裕

TEL 06-6208-3971

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日~平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業利	刂益	経常和	J益	四半期紅	柯益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,814	2.8	346	45.8	338	51.6	145	11.9
23年3月期第3四半期	4,680	14.4	237	_	223	_	129	_

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	23.43	23.39
23年3月期第3四半期	20.95	20.95

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年3月期第3四半期	7,887	3,870	49.0	623.50
23年3月期	7,244	3,826	52.7	616.51

(参考) 自己資本

24年3月期第3四半期 3,862百万円

23年3月期 3,817百万円

2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円 銭	円 銭	円銭	円 銭			
23年3月期	_	0.00	_	15.00	15.00			
24年3月期	_	0.00	_					
24年3月期(予想)				18.00	18.00			

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年3月期(予想)配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 3円00銭

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	6,800	4.0	570	19.3	560	18.7	300	7.9	48.43

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、3ページ【2. サマリー情報(その他)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用】をご覧下さい。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 有 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 :有 ④ 修正再表示 · 無

(注)詳細は、3ページ【2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示】をご覧下さい。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	6,440,450 株	23年3月期	6,440,450 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	245,183 株	23年3月期	247,983 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	6,194,405 株	23年3月期3Q	6,192,467 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

スプローがして、 この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四 半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。 なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧下さい。

○添付資料の目次

1	. 当匹	3半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	経営成績に関する定性的情報	2
	(2)	財政状態に関する定性的情報	3
	(3)	業績予想に関する定性的情報	3
2	. サマ	リー情報(その他)に関する事項	3
	(1)	四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
	(2)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
		追加情報	
3		· 期財務諸表 ······	
		四半期貸借対照表	
		四半期損益計算書	
	(3)	継続企業の前提に関する注記	8
	(4)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間のわが国経済は、東日本大震災によるサプライチェーンの混乱から脱却し、緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、欧州の財政・金融不安や新興国の成長率の鈍化傾向の強まり、国内では円高の定着や株価の低迷など、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社は、震災復旧需要も取り込み、国内プラントメーカーを中心に汎用型の定量ポンプ、マグネットポンプ、大型タンクなどの実績が伸びました。

主力の定量ポンプでは、海外向けの水処理プラント案件が増えたことに加え、高付加価値商品の「スムーズフローポンプ(高精密ダイヤフラムポンプ)」が、タブレットPCやスマートフォンなどの市場拡大を受け、光学フィルムや電子材料の業界向けで好調でした。

ケミカル移送ポンプは、汎用エアクションポンプの伸びに加え、震災復旧に伴うマグネットポンプや危険物回収に貢献する回収ポンプの受注が実績を牽引しました。

ケミカルタンクについても、震災復旧需要を含め、大型タンクが好調でした。

その一方で、計測機器及び装置、流体機器については、前年同期の大型物件計上の反動で減収となりました。

また、生産面においては、前年度からの工場建替え工事が完了し、平成23年11月から新工場が稼動しました。これを契機として、一層の生産効率の向上とともに、新製品開発の促進、品質向上に向けた努力を行い、タクミナファンの拡大に繋げてまいります。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は48億14百万円(前年同期比2.8%増)と増収となりました。

利益面では、付加価値製品である定量ポンプの売上構成比率上昇が粗利率の向上に寄与した結果、売上総利益は19億52百万円(前年同期比4.7%増)の増益となりました。

さらに販売費及び一般管理費が減少したため、営業利益は3億46百万円(前年同期比45.8%増)、 経常利益は3億38百万円(前年同期比51.6%増)と大幅な増益となりました。

工場の建替えに伴う特別損失及び税金費用の増加を反映した結果、四半期純利益は1億45百万円(前年同期比11.9%増)の増益となりました。

品目別販売実績は次のとおりであります。

【品目別販売実績】

FF F /31/9/() = 2 C//3/ 1						
期別	前第3四半期 (自 平成22年 至 平成22年		当第3四半期 (自 平成23年 至 平成23年	4月1日	増	減
品目別	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
定量ポンプ	2, 304	49. 2	2, 518	52. 3	214	9.3
ケミカル移送ポンプ	393	8.4	491	10. 2	97	24. 9
計 測 機 器・装 置	1,015	21.7	804	16. 7	△210	△20.8
流 体 機 器	440	9.4	335	7.0	△105	△23.9
ケミカルタンク	320	6.9	405	8.4	85	26. 7
そ の 他	207	4.4	258	5.4	51	24.6
合 計	4, 680	100.0	4, 814	100.0	133	2.8

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて6億43百万円増加し、78億87百万円となりました。

流動資産は35百万円減少し、45億83百万円となりました。主な増減内訳は、現金及び預金の増加2億41百万円、売上債権の減少1億21百万円、短期所有の有価証券の減少2億53百万円、棚卸資産の増加1億5百万円であります。

固定資産は6億78百万円増加し、33億4百万円となりました。主な増減内訳は、新工場建設による建物及び構築物の増加7億13百万円並びに機械及び装置の増加77百万円、投資有価証券の減少1億12百万円であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べて5億98百万円増加し、40億16百万円になりました。 流動負債は2億77百万円増加し、23億74百万円となりました。主な増減内訳は、仕入債務の増加79百万円、借入金の増加3億59百万円、未払法人税等の減少98百万円、賞与引当金の減少89百万円であります。

固定負債は3億20百万円増加し、16億42百万円となりました。主な増減内訳は、長期借入金の増加2億92百万円と長期未払金の増加2億32百万円、役員退職慰労引当金の減少2億9百万円であります。

また純資産は、前事業年度末に比べて44百万円増加し、38億70百万円となりました。主な増加内訳は、四半期純利益1億45百万円から配当金92百万円を差引いた利益剰余金の増加52百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は3.7ポイント減少し49.0%となりました。

(3)業績予想に関する定性的情報

詳細につきましては、平成23年10月24日に公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照下さい。

- 2. サマリー情報(その他)に関する事項
- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算・・・・・・・・ 当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対す る税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純 利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該 見積実効税率を用いて税金計算すると著しく合理性を欠く結果とな

る場合には、法定実効税率を使用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却の方法の変更)

当社は、建物 (附属設備を除く) の減価償却方法について、従来定率法によっておりましたが、第1四半期会計期間から、将来にわたり定額法に変更いたしました。

この変更は、新工場の建設を契機として建物の使用状況の見直しを行った結果、長期安定的な使用により、その投資効果が平均的に発生すると見込まれるとともに、修繕費等の設備維持コストも毎期平均的に発生しているため、減価償却方法を定額法に変更することで、より合理的な費用配分を行うためであります。

これにより、従来の方法と比べて、当第3四半期累計期間の減価償却費が10,385千円減少し、営業利益、経常利益および税引前四半期純利益はそれぞれ9,963千円増加しております。

(3)追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(役員退職慰労引当金)

当社は、平成23年4月22日開催の取締役会において役員退職慰労金制度の廃止を決議するとともに、平成23年6月17日開催の第35回定時株主総会において、役員退職慰労金の打ち切り支給を決議いたしました。これにともない、役員退職慰労引当金を全額取崩し、打ち切り支給額の未払分については、固定負債の長期未払金へ計上しております。

4. 四半期財務諸表 (1) 四半期貸借対照表

(単位:壬円)

		(単位:千円)
	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	681, 798	923, 349
受取手形及び売掛金	2, 908, 582	2, 787, 474
有価証券	377, 298	123, 331
商品及び製品	63, 379	89, 047
仕掛品	2, 690	3, 371
原材料及び貯蔵品	445, 316	524, 130
その他	142, 693	135, 314
貸倒引当金	△3, 089	△2, 925
流動資産合計	4, 618, 669	4, 583, 094
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	460, 416	1, 174, 203
機械及び装置(純額)	68, 254	145, 862
土地	609, 568	609, 568
その他(純額)	197, 719	166, 577
有形固定資産合計	1, 335, 958	2, 096, 211
無形固定資産	69, 070	74, 154
投資その他の資産		
投資有価証券	591, 544	478, 610
関係会社株式	3,000	3,000
その他	628, 409	655, 083
貸倒引当金	△2, 140	△2, 607
投資その他の資産合計	1, 220, 813	1, 134, 086
固定資産合計	2, 625, 842	3, 304, 452
資産合計	7, 244, 511	7, 887, 547
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1, 271, 318	1, 350, 926
短期借入金	188, 000	340,000
1年内返済予定の長期借入金	_	207, 112
未払法人税等	153, 787	55, 288
賞与引当金	178, 170	88, 913
その他	305, 718	332, 191
流動負債合計	2, 096, 993	2, 374, 430
固定負債		
長期借入金	400, 000	692, 888
再評価に係る繰延税金負債	43, 024	38,006
退職給付引当金	668, 889	671, 999
役員退職慰労引当金	209, 442	_
長期未払金	_	232, 837
その他		6, 611
固定負債合計	1, 321, 356	1, 642, 342
負債合計	3, 418, 350	4, 016, 772

(単位	千	\Box	١

		(十四・117)
	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	892, 998	892, 998
資本剰余金	731, 659	731, 784
利益剰余金	2, 293, 042	2, 345, 289
自己株式	△123, 809	△122, 411
株主資本合計	3, 793, 890	3, 847, 661
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18, 982	7, 065
繰延ヘッジ損益	_	△1,843
土地再評価差額金	4,833	9, 851
評価・換算差額等合計	23, 815	15, 073
新株予約権	8, 455	8, 039
純資産合計	3, 826, 161	3, 870, 774
負債純資産合計	7, 244, 511	7, 887, 547

(2) 四半期損益計算書 (第3四半期累計期間)

(第3四半期累計期間)		(単位:千円)
	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	4, 680, 939	4, 814, 170
売上原価	2, 815, 298	2, 861, 207
売上総利益	1, 865, 640	1, 952, 963
販売費及び一般管理費	1, 627, 640	1, 605, 998
営業利益	237, 999	346, 965
営業外収益		
受取利息	6, 126	4, 015
受取配当金	7, 171	6, 731
投資有価証券売却益	1, 928	-
受取保険金	_	4, 095
その他	7, 443	5, 934
営業外収益合計	22, 669	20, 778
営業外費用		
支払利息	6, 605	6, 408
売上割引	2, 957	3, 209
投資有価証券売却損	-	2, 170
投資有価証券評価損	11, 416	9, 224
為替差損	14, 254	2, 790
その他	2, 237	5, 503
営業外費用合計	37, 471	29, 306
経常利益	223, 197	338, 437
特別利益		
新株予約権戻入益	114	270
特別利益合計	114	270
特別損失		
固定資産除売却損	1, 167	1, 987
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	976	-
役員退職慰労金 ^ 目 (表表 第 B	_	21, 167
会員権評価損	470	- 04 020
工場建替関連費用		24, 238
特別損失合計	2,613	47, 392
税引前四半期純利益	220, 698	291, 314
法人税等	90, 948	146, 180
四半期純利益	129, 750	145, 134

- (3)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。